

まちづくりの視点

- 新型コロナ危機を契機に生じた変化
(都市機能、都市交通、オープンスペース、データ・デジタル技術等)
- 頻発・激甚化する自然災害への対応
(都市再生特別措置法の一部改正：安全で魅力的なまちづくりの推進)
- 本計画の将来都市像
「心とみ、光り輝くまち ふるさと和光」の実現
- SDGsを意識した取り組み
(レジリエントで持続可能な都市基盤の構築など)
- 市民意向調査
(市民生活の目標像実現にあたっての基礎調査)

基本理念

より安心、より快適なまちづくり
～みどり豊かで暮らしやすいまちを求めて～

将来都市像

心とみ、光り輝くまち ふるさと和光

まちづくりの課題

土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ■和光市駅を中心とした都市機能の集積と駅周辺の利便性向上 ■市庁舎周辺における魅力的な地区の再生、にぎわいの創出 ■和光北インターチェンジ周辺における地域産業の振興、地域活力の向上
道路・交通体系	<ul style="list-style-type: none"> ■都市計画道路の未整備路線における整備推進 ■超高齢社会に対応した安全で快適な道路環境の確保 ■コンパクトなまちづくりと連携した地域公共交通の充実、総合的な交通体系の確立
公園・緑地・環境	<ul style="list-style-type: none"> ■市内の農地や斜面林、湧水など自然環境の積極的な保全 ■都市内に残る貴重な農地の積極的な利活用
都市防災	<ul style="list-style-type: none"> ■災害上危険な土地について、土地利用の制限や地域ごとに最適な土地利用の選択 ■市民協働による総合的な防災・減災まちづくりの推進
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ■公共下水道未整備区域における、計画的な施設の更新 ■生活関連施設の維持、多様なニーズに対応した利活用方策の検討 ■空き家の適正管理、発生予防と利活用方策の検討
都市景観形成	<ul style="list-style-type: none"> ■市民、事業者及び市の協働によりまちの特色や地域の個性を生かし、市民の愛着や誇りを育む良好な景観の形成・保全

まちづくりの目標

安全・安心	誰もがそれぞれのライフステージで充実した生活を送れるよう、高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる安全・安心なまちづくり
生活	和光市に住んで良かったと思えるよう、快適な生活が送れるとともに、健康で、働き続けることができ、住んでいるまちに対する誇りを持てるまちづくり
移動	運転免許証を返納した高齢者など交通弱者をはじめ、全ての市民にとって移動の自由が確保されるまちづくり
経済	和光北インターチェンジ周辺において、交通利便性を生かした産業拠点の創出によって、地域の活性化につながるまちづくり
デジタル技術	デジタル化の急速な進展を踏まえたデータの活用等により、魅力やにぎわいのあふれる和光市を次世代につなぐ、社会変化に即したまちづくり

分野別都市づくり方針

地域別構想

まちづくり戦略

戦略1
災害に備え、都市と自然が調和した安全・安心に住み続けられるまちづくり

3 3 3 3
3 3 3 3
3 3 3 3
3 3 3 3

戦略2
あらゆる世代の人が快適で健康な生活が送れ、地域コミュニティで支え合うまちづくり

3 6 11 15
3 6 11 15
3 6 11 15
3 6 11 15

戦略3
移動の自由が確保され、社会変化に即した生活環境を実現するまちづくり

3 9 10 11
3 9 10 11
3 9 10 11
3 9 10 11

戦略4
地域の活力と生活環境が充実した魅力のあるまちづくり

8 9 11 17
8 9 11 17
8 9 11 17
8 9 11 17